

# 津警察署協議会議事録

令和5年度第2回津警察署協議会	
<b>日時</b>	令和5年10月11日（水）午前10時～午前11時15分
<b>場所</b>	津警察署 1階会議室
<b>出席者</b>	<p>1 三重県公安委員会委員 1名 志田幸雄委員</p> <p>2 警察署協議会 11名 飯田聡委員、加瀬由美子委員、杉井ひろ子委員、鈴木一彦委員、高木暢子委員、竹尾久美子委員、田中克昌委員、寺田実智子委員、西出匠吾委員、前田律子委員、水谷ひとみ委員</p> <p>3 警察署 13名 署長、副署長、事件指導官、会計課長、警務課長、留置管理課長、生活安全課長、地域課長、刑事第一課長、刑事第二課長、交通第一課長、交通第二課長、警備課長</p>
<b>傍聴者数</b>	なし
<b>公開・非公開の別</b>	公開
<b>議 事 概 要</b>	
<p>1 三重県公安委員会委員挨拶</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>3 警察署長挨拶</p> <p>4 管内概況説明（警察署長）</p> <p>(1) 刑法犯認知・検挙状況 「刑法犯認知件数は増加しており、特に自転車盗の増加が顕著であるため、被害防止対策に注力する。検挙件数が減少していることから、検挙に向けた捜査を積極的に展開する。」旨説明した。</p> <p>(2) 特殊詐欺認知・検挙状況 「特殊詐欺認知件数は増加し、検挙件数は減少した。特に、預貯金詐欺の被害が顕著である。また、被害者の大半が65歳以上の高齢者である。」旨説明した。</p> <p>(3) 暴力団犯罪情勢 「検挙件数、検挙人員ともに微増した。」旨説明した。</p> <p>(4) 薬物犯罪情勢 「検挙件数、検挙人員ともに増加しており、覚醒剤事犯の増加が顕著である。」旨説明した。</p> <p>(5) 交通事故発生状況 「交通事故は、増加傾向にある。死亡事故は、昨年5件の5名を上回り、極めて憂慮すべき状況である。」旨説明した。</p> <p>(6) 交通安全対策 「『横断歩道の“ハンドサイン”キャンペーン』、『ACTION38キャンペーン』を推進し、歩行者保護意識の定着を図るほか、自転車利用者に対するヘルメット着用の推進などに、取り組んでいる。」旨</p>	

説明した。

5 人身安全関連事案の対応状況について（生活安全課長）

6 協議内容

(1) 児童虐待への対応状況について

<委員> 子どもだけで留守番をさせることが児童虐待に当たる可能性があると他県のニュースで見たが、警察の対応状況についてお聞きしたい。

【生活安全課長】 事案の態様によって異なるが、育児を放棄している状況などが認められる場合には、児童虐待として児童相談所に通告している。

<委員> 児童虐待は、増加傾向にあるのか。

【生活安全課長】 管内の令和4年中の認知件数は65件であったが、令和5年8月末現在で既に56件を認知しており、増加傾向にある。

(2) 障害者虐待の認知状況について

<委員> 特別支援学校で発生した障害者虐待のニュースを見たが、警察は、どのように障害者虐待を認知しているのか。

【生活安全課長】 管内では、令和3年に障害者虐待を1件認知しているが、虐待を受けた本人からの通報により認知した。

【署長】 事案の端緒を得る割合として、各施設からの通報は極めて低い状況にあるが、内部告発により端緒を得る可能性は今後十分に考えられる。

7 三重県公安委員会委員講評

各種虐待事案は、警察と関係機関が連携して対応する必要があるが、様々な課題に対して、協議会の場でも議論していただきたいと考えている。

備 考	
-----	--